

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	阪急西宮ガーデンズ西側社有地計画	階数	地上14F
建設地	兵庫県西宮市高松町544の一部、545-1、546、547、548、551の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店・集合住宅・工場等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2020年12月01日
敷地面積	2,998 m <sup>2</sup>	作成者	村尾 宗俊
建築面積	1,772 m <sup>2</sup>	確認日	2020年12月03日
延床面積	18,337 m <sup>2</sup>	確認者	杉山 健博



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 88% (162 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 88%

④ 上記+: 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	2.8
温熱環境	2.6
光・視環境	3.1
空気質環境	3.7

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	3.3

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.7

生物環境	4.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

建物外皮の	1.8
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	3.6

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

地球温暖化	3.4
地域環境	3.1
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%。 カーテン、庇を組み合わせて制御。	Q3 室外環境(敷地内) 1) 建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部・塀等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。 2) 植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	[BEI] = 0.90、[BEIm] = 0.79。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して88%。
Q2 サービス性能	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。 給水PEP(B)、給湯HT(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器など)などを用いている。 LGSとOAフロアを使用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される